



令和3年度 会長賞全国1位



19XA13453 "Ryōga453" BC ♂ 住谷勝三鳩舎 作翔

21年春ニュー近畿連盟Rg 2,804羽中総合4位 入賞率0.00143

ニュー近畿連盟地区N 1,602羽中総合6位 入賞率0.00375

*シルバーエクセレントピジョン認定

合計入賞率 **0.00518**

生まれ

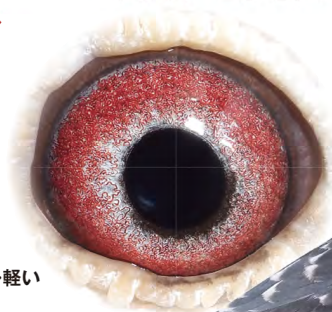
- ・生年月日 …… 19年4月30日
- ・順番 …… 1番仔

鳩体

- ・大きさ …… 中
- ・体型 …… 普通
- ・主翼の形状 …… キレあり
- ・腰の厚み …… 普通
- ・筋肉 …… 硬い
- ・ベスト時の重さ …… 軽い
- ・目 …… 銀
- ・バランス …… 中間
- ・性格 …… 神経質

作出の意図

- ・距離適性 …… 500K~700K
- ・展開 …… 分速1200~1300m台
- ・タイプ …… 安定型



- ▶ NL09-1375314 BCW ヤン・ホーマンス 作
"ヨンク・ブリクセム"孫×娘
直仔/17年春ニュー近畿連盟Rg総合優勝
- ▶ "サニーボーイ" NL08-1730674 BC ヤン・ホーマンス 作
"ハリー" (WHZB長距離ナショナルAP賞1位)の異母兄弟×
"ディルクイエ" (上記"ハリー"の母/"カニバル"の孫"クラ
イネ・ディルク"娘)
- ▶ NL07-2007904 B ヤン・ホーマンス 作
全兄弟/オッフェンブルグNPO7,150羽中6位
異母兄弟/上記"ハリー"
- ▶ 13XA13070 B 住谷勝三 作翔
14年春ニュー近畿連盟GP総合2位
直仔/17年春ニュー近畿連盟Rg総合優勝
- ▶ 05XY05158 BC 住谷 作 王将ロフト委託
400K, 500K入賞 "楓&いちよう" (楓賞300K総合優勝)の直系
全兄/王将ロフト500K優勝
直仔/09年秋ニュー近畿連盟Rg総合優勝
- ▶ 11XA06832 BC 住谷 作
▶ "シンバ528" 09XA17528 BC 住谷 作翔
10年ニュー近畿連盟イヤリングAP賞1位
01年長万部1000K総合優勝の直仔×
上記"楓&いちよう"の直仔掛け
- ▶ "ウィットペン809"
B07-5100809 BP ポール・ヒュルズ 作翔
シメイ181羽中4位他 "アライン" (アルジェントN最高分速/
"フィナーケ5000"父方祖母"パールジュスケ"の孫)の直仔×
(上記"カニバル"×"カニバル"の父"ランボー"の半姉妹の孫)
全兄弟/"ブラックジャック"
(オリンピアードオールラウンド部門ベルギー1位)

の

近畿連盟・豊中連合会



界初となる「会長賞全国1位」が誕生——！

した中距離エースビジョン賞(以下AP賞)「会長賞」の頂点——「全国1位」。令和3年度の中距離レーサーの日本(中)作翔の「19XA13453」であった。なおニュー近畿連盟において同賞1位は史上初の受賞であり、また「会長賞」「ザ・ファースト(*1羽目)」である。歴史を作りあげた受賞鳩は、住谷鳩舎を「カイザー」と言わしめるほどの強さ出。しかも18年と19年の「会長賞全国1位」と同じく「霸王」の異名をもつ「カニバル」の近親鳩による成果だった!

ニュー近畿連盟初!
そして西日本初の全国1位!

「会長賞」は、78年笹川良一氏が当協会の会長に就任したことによって設立された「笹川銘鳩賞」を源流とする「公称400K以上」のRGと「公称600K以上」の地区Nの2レースを対象とする中距離AP賞である。「笹川銘鳩賞」の第1回目(*全国ベスト3を顕彰)を除き、12年までの授賞範囲は「各連盟1位」のみだったが、13年から「全国1位」というカテゴリーが作られ、名実ともに「日本一の中距離レーサー」を決めるタイトルとなった。規程も13年までは設立当初と同じ合計順位による「得点制」を用いていたものの、14年からは「入賞率制」に変更となっている。

新元号になって2羽目——令和3年度の会長賞全国1位には、RGで総合4位、地区Nで総合6位を取めた住谷勝三鳩舎(豊中)作翔の「19XA13453」が選出された。同鳩舎曰く、受賞鳩は19

年秋に菊花賞で連盟優勝と同着で連盟3位に入賞したことで、エースの座を手に入れた「期待の1羽」とのこと。しかもこれら中距離レースでの活躍により、シルバークセレントビジョンの認定、そしてニュー近畿連盟で獲得困難とされる「銘鳩賞(*総合ベストテン3回)」までも手に入れている。例

作翔者・住谷勝三鳩舎(豊中連合会)のプロフィール
★レース歴/47年 ★鳩舎規模/種鳩25坪130羽 選手鳩15坪150羽
★主力系統/リブバレイ系 ベルギー、オランダ輸入系
★代表翔歴/日本優秀鳩舎賞2回、全日本ゼネラルCH賞、ブロックチャンピオン賞、300K~1200K各総合優勝



年通り「然るべき」スベシャリストが「中距離レーサーの日本一」に輝いたというわけだ。合計入賞率は「0・00518」。ニュー近畿連盟として会長賞の全国1位を獲得したのは史上初の快挙であり、「会長賞として、見れば、西日本鳩レース界全体で初めてのことである。

地元鳩界にとつてヒストリーメーカーとなった「19XA13453」は、史上2羽目となる「2歳鳩」。性別は「♂」で生まれは4月30日の1番仔である。鳩体の大きさが「中」、体型が「普通」、主翼の形状は「キレあり」、腰の厚みは「普通」で、筋肉は「硬い」、バランスは「中間」というのが住谷鳩舎の見解。これに付け加えるとしたら、骨格が歴代会長賞全国1

位鳩の中でも随一しっかりとおり、「これぞ近畿のトリ」というパワフルなレーサーといったところか。

全国1位鳩にも反映!
「最強」を築く王道配合式

住谷鳩舎は、自鳩舎のCHバードを中心に選りすぐりの「旬」の輸入鳩でラインを強化するスタイルで、200K~1200Kまでの総合優勝というグラウンドスラム級の実績を築いてきた。そこで関西の有名なビジョンジャーナリスト

令和3年度 会長賞全国1位 作翔者・住谷勝三鳩舎(ニュー)

ニュー近畿連盟、そして西日本鳩レース

歴代会長賞全国1位受賞鳩及び受賞者一覧

年	受賞鳩 & 受賞者	合計入賞率
20年	———— コロナ禍による春レース中止で授賞なし ————	
19年	“令和ストロング号” 18KA10144 BC ♂ 船川勝信鳩舎(埼玉・埼玉連合会)	0.00460
18年	“キンバリー” 17LB04520 B ♀ 日暮義一鳩舎(千葉・房総連合会)	0.00321
17年	“石狩マスト号” 16HS00121 B ♀ 原田 弘鳩舎(つくばね・常陸石岡連合会)	0.00180
16年	“パーフェクト・ナショナル” 14MK04520 BC ♀ 原 正次鳩舎(東京多摩・東京湘南連合会)	0.00343
15年	14HF04926 B ♂ 足澤秀昭鳩舎(東坂東・宇都宮連合会)	0.00209
14年	13HF10148 B ♀ 釜井盛司鳩舎(東坂東・宇都宮連合会)	0.00189
13年	“アイアン・レディ” 12LB01045 B ♀ 日暮義一鳩舎(千葉・房総連合会)	得点2

*14年度より完全入賞率制を導入

Rgと地区Nの2レースを対象と射止めたのは、住谷勝三鳩舎(豊としてみれば、西日本鳩レース界に築いた王道配合式によって作

から贈られた異名は「カイザー」である。同鳩舎は本年度の日本優秀鳩舎賞、全日本ゼネラルCH賞のダブル受賞を決めており、レイスマンとして未だ進化を止めない。この常勝をもたらししたセオリーは最高賞「冠のポイントゲッター」でもある「19XA13453」にも大きく反映されている。父親は選りすぐられた輸入鳩のライン——ヤン・ホーイマンズの作出鳩で、16年にKBD B会長全

国優勝鳩(*ギム)を生み出すなど、現在日本鳩レース界で「ブルー」を巻き起こしている「ハリ」の半兄弟同士の直仔だ。といつても「ハリ」の両親である「ヨング・ブリクセム」と「ディルクイエ」両者の血は流れている上、前者(*「ヨング・ブリクセム」)からみれば「孫×娘」交配となっている。

対して母鳩は14年にGPで総合2位を飾った住谷鳩舎のCHだ。その父親「05XY05158」と母方祖父にあたる連盟のイヤリングAP賞1位「シンバ528」を経由し、自系統「リブバレイ系」の基礎鳩というべき「楓&いちよう(*64年バルセロナIN優勝・62年同IN2位「バルセロナII」の筋)の血が三層以上にあつた脈打つ。一方、4分の1が前述の「ハリ」をはじめ、コブマンの「グライネ・ディルク」(*トロアNPPO優勝、ブルジュNPPO優勝、NPPO AP賞1位)、フィンクの「レーザ」(*万羽レース優勝3回)と「ブアラ・ディヴァ」(*西ヨーロッパパカップ長距離部門1位)といった歴史的超銘鳩を生み出し、ヨーロッパ中距離界の「今」を築いたファンダイクの「カニバル」(*96年KBD B中距離ナショナルAP賞1位)、そしてヨーロッパにおいて「20世紀最高のCH」と評されているフェ

自系統近親にプラスされた 世界的超銘鳩の血

対して母鳩は14年にGPで総合2位を飾った住谷鳩舎のCHだ。

ルホルトの「ブイーネケ5000(*99年オリンピック中距離部門代表)——の父方祖母「ブルジュスケ」の銘血で作られたポール・ヒュルス作翔のCHで、なおかつオリンピック代表鳩「ブラックジャック」の全兄弟だ。ちなみにこの「ブラックジャック」から、19年度にスパーエクスレントビジョン認定と日本AP賞受賞のレース鳩の最高賞「ダブル」を果たした「17LK06068」が生み出されたことは記憶に新しい。

果たして「19XA13453」は、住谷鳩舎の王道配合で作られた1羽であり、父方の「ディルクイエ」の大元に視点を変えてみると「カニバル」の緩やかな近親交配だ。18年と19年の「会長賞全国1位」も同様に「カニバル」の近親鳩であり、鳩体こそ別タイプだが血配合からすれば「実質」3年連続同じということ。ヨーロッパ中距離界を席卷する「霸王」の血にあつて、レース環境の異なる東西で然るべき強さを示しただけでなく、日本中距離界に「潮流」までも作り上げたようだ。また関東一極化と言われるこの時代に「カイザー」と住谷鳩舎による「会長賞全国1位」受賞は、近畿のみならず西日本鳩レース界全体に希望を与えたであろう。

「カニバル」近親鳩が 3連続中距離日本一!

【各連盟の受賞鳩の発表は38頁】